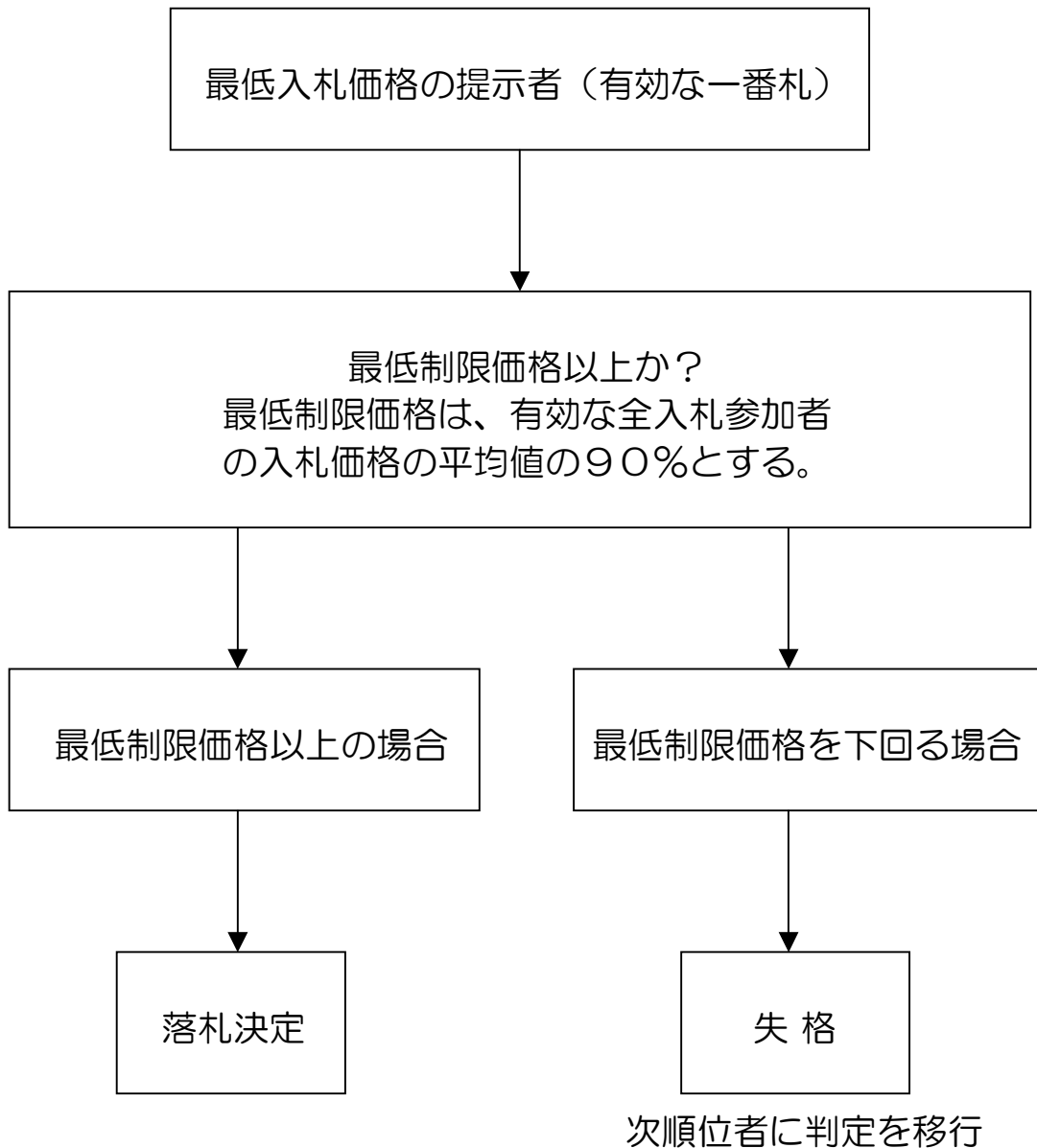


変動型最低制限価格制度の適用方法フロー図



- 1 予定価格以上の入札については、無効とし最低制限価格の算出からは、除外する。
- 2 有効な入札者が1者の場合は、予定価格の3分の2を平均価格とし、その平均価格の90%が最低制限価格となる。

事例① 全部が有効な入札の場合

<p>予定価格（事前公表） 10,000,000 円</p>	
	<p>A社 ○ B社 ○ C社 ○ D社 ○ E社 ○落札（7,500,000 円）</p>
<p>最低制限価格 7,000,000 円</p>	<p><u>（A社、B社、C社、D社、E社の平均価格×90%）</u> ※E社が落札となります。</p>

事例② 無効な入札が1者（A社）の場合

<p>予定価格（事前公表） 10,000,000 円</p>	<p>A社 ●無効（10,500,000 円）</p>
	<p>B社 ○ C社 ○ D社 ○落札（7,500,000 円）</p>
<p>最低制限価格 7,000,000 円</p>	<p><u>（B社、C社、D社、E社の平均価格×90%）</u> E社 ●失格（6,800,000 円）（有効） ※D社が落札となり、A社（予定価格を超過）は無効となり、E社（最低制限価格以下）は失格となります。 ※E社の入札額は計算過程においては有効であるが、結果として失格となります。</p>

事例③ 有効な入札が1者（C社）だけの場合

<p>予定価格（事前公表） 10,000,000 円</p>	<p>A社 ●無効（10,500,000 円） B社 ●無効（10,200,000 円）</p>
	<p>C社 ○落札（7,000,000 円）</p>
<p>最低制限価格 5,999,000 円</p>	<p><u>（予定価格×2／3×90％）</u></p> <p>※C社の落札となり、A社とB社（予定価格を超過）は無効となります。</p> <p>※有効な応札者がC社だけのため、予定価格×2／3×90％が最低制限価格となる。</p>

事例④ 有効な入札が1者（C社）だけの場合

<p>予定価格（事前公表） 10,000,000 円</p>	<p>A社 ●無効（10,500,000 円） B社 ●無効（10,200,000 円）</p>
<p>最低制限価格 5,999,000 円</p>	<p><u>（予定価格×2／3×90％）</u></p> <p>C社 ●失格（5,700,000 円）（有効）</p> <p>※A社とB社（予定価格を超過）は無効で、C社（最低制限価格以下）は失格となり、この入札は不調となります。</p> <p>※C社の入札額は計算過程において有効であるが、結果としては失格となる。</p>